

令和3年度 野生動物救護実績について

自然環境保全センター（厚木市七沢）では、県民の皆様によって救護され、運び込まれた傷病鳥獣（傷ついたり弱ったりしている野生の鳥類や哺乳類）を収容して治療し、野生に返す（放鳥、放獣）仕事を行っています。

令和3年度の野生動物救護の実績をお知らせします。

1 令和3年度の鳥類・哺乳類救護状況

区分	種類	数（頭、羽）	数の割合
鳥類	45	270	91.2%
哺乳類	6	27	8.8%
合計	51	297	100.0%

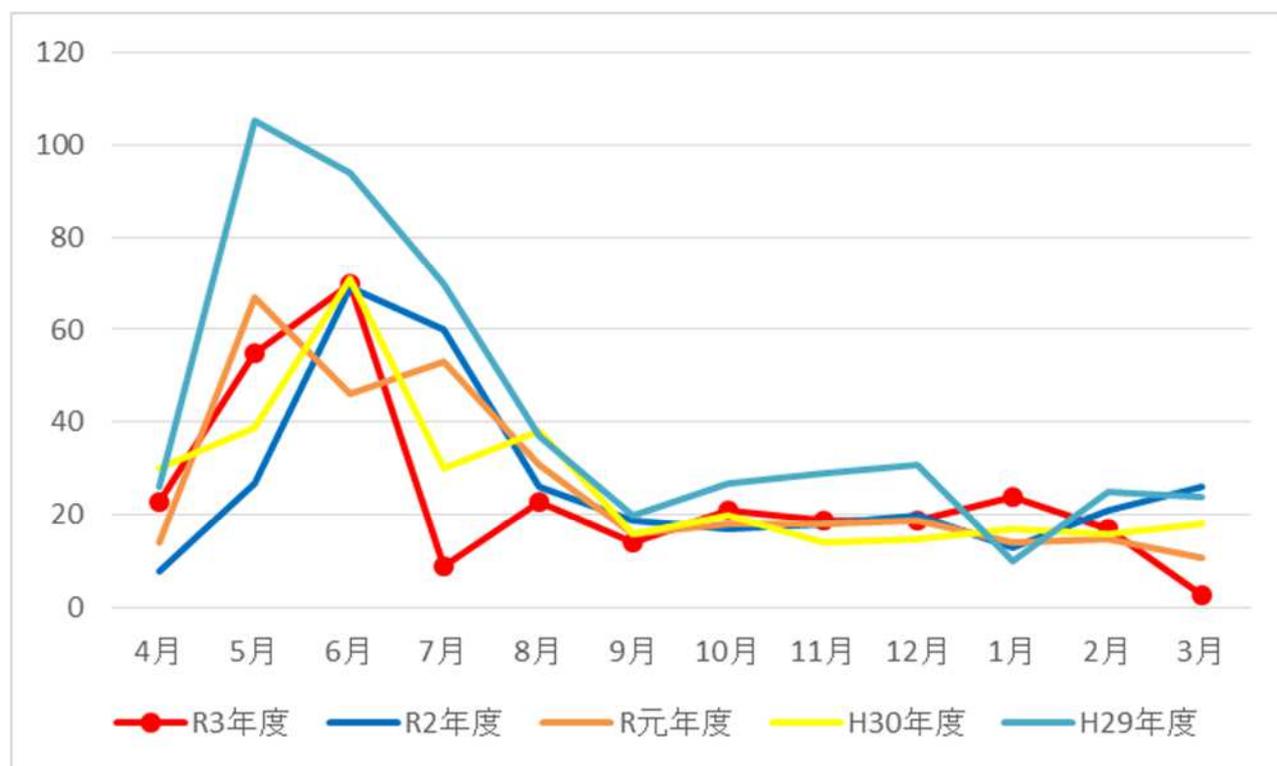
参考（過去5ヵ年の救護状況）

(1) 年度別救護数

年度別	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度	
鳥類	270	(9)	280	(22)	275	(23)	284	(23)	445	(15)
哺乳類	27	(1)	44	(3)	47	(2)	40	(2)	53	(3)
計	297	(10)	324	(25)	322	(25)	324	(25)	498	(18)

*（ ）はへい死体で持ち込まれたもので、内数

(2) 月別救護点数



(3) 救護数上位 10 種

年度別	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	種名	頭、羽	種名	頭、羽	種名	頭、羽	種名	頭、羽	種名	頭、羽
1	スズメ	46	ツバメ	33	ツバメ	45	ツバメ	49	スズメ	70
2	キジバト	35	スズメ	33	タヌキ	37	スズメ	43	ツバメ	64
3	メジロ	18	キジバト	29	キジバト	29	タヌキ	33	タヌキ	35
4	ムクドリ	18	ムクドリ	26	スズメ	29	キジバト	30	キジバト	35
5	シジュウカラ	16	シジュウカラ	24	シジュウカラ	17	ムクドリ	20	ムクドリ	28
6	ツバメ	16	タヌキ	23	ヒヨドリ	15	ヒヨドリ	18	カルガモ	27
7	ヒヨドリ	16	アブラコウモリ	17	カルガモ	14	メジロ	11	ヒヨドリ	22
8	タヌキ	16	ヒヨドリ	16	メジロ	14	トビ	8	イワツバメ	12
9	イソヒヨドリ	11	メジロ	14	ムクドリ	14	モズ	7	トビ	10
10	カルガモ	9	トビ	7	フクロウ	8	シジュウカラ	7	コシジロウミツバメ	9
							アオバト	7	メジロ	9

(4) 放野率・死亡率 (%)

	令和3年度			令和2年度			令和元年度			平成30年度			平成29年度		
	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他	放野	死亡	その他
鳥類	32.2	59.0	8.8	41.1	45.7	13.2	54.4	40.1	5.6	44.4	46.8	8.8	29.5	61.9	8.6
哺乳類	23.1	57.7	19.2	47.4	50.0	2.6	24.4	53.3	22.2	39.5	13.2	47.4	36.0	42.0	22.0
全体	31.4	58.9	9.8	41.9	46.3	11.8	49.8	42.1	8.1	42.1	45.5	12.4	30.2	59.8	10.0

*各年度の3月31日時点（へい死体除く）

*その他は治療中・終生飼養・長期飼養に移管したものなどを含む。

2 令和3年度の特徴

全体の救護原因として建物への衝突などといった、主に人間が関わっている救護原因は 52.2% です。

- * 2021年6月17日～7月26日と2022年2月27日～3月23日まで適切な収容可能数を超えているため神奈川県自然環境保全センターでの傷病鳥獣救護新規受入れを休止しました。
- ** 前年度より2021年4月29日までと11月1日～ 高病原性鳥インフルエンザ感染予防の観点から横浜市立動物園では鳥類の受入れを休止しています。
- *** 前年度より2021年5月10日までと2021年11月8日～ 高病原性鳥インフルエンザ感染予防の観点から川崎市夢見ヶ崎動物公園では鳥類の受入れを休止しています。
- **** 2021年6月20日～2月4日まで横浜市立野毛山動物園にて動物病院改修工事のため、受入れを休止しました。

(鳥類)

- ・スズメ、キジバト、メジロなど人間の近くで繁殖・生活している種類が上位を占めています。
- ・珍しい例としては令和3年8月にオオヨシキリのヒナが保護されました。

(哺乳類)

- ・令和3年6月にカヤネズミの幼獣が保護されました。

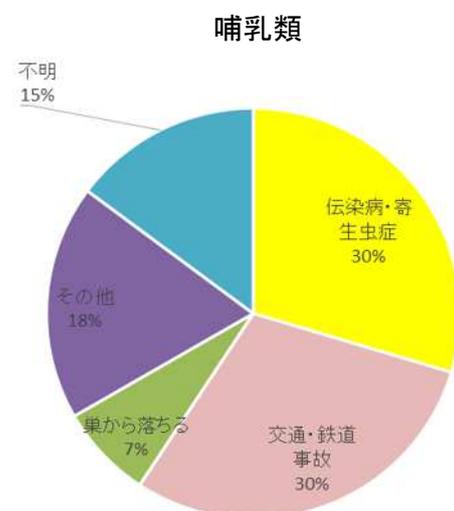
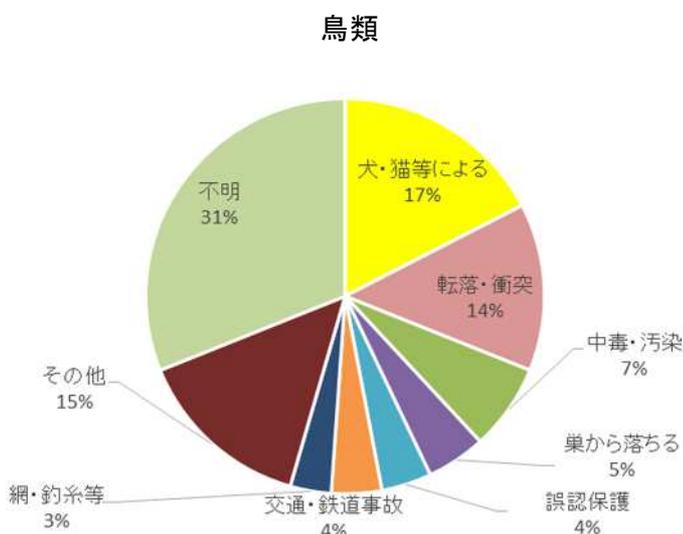


オオヨシキリ



カヤネズミ

参考 (令和3年度の保護原因)



3 ボランティアの活動

- ・当センターには野生動物の飼養や治療・リハビリの補助、環境教育や普及啓発活動等を行っている多くの野生動物救護ボランティアの方々がいらっしゃいます。
- ・野生動物救護ボランティアには一般ボランティア（注1）、短期飼養ボランティア（注2）および長期飼養ボランティア（注3）があります。令和3年度の一般ボランティアの活動人数は年間延べ633人で、毎年多くの方々にご参加いただいています。また、長期飼養ボランティアに飼養を新たに依頼した野生動物の数は0件になります。

注1 一般ボランティア

当センターに保護されている鳥獣のお世話や救護動物特別公開などの普及啓発活動を行っていただいております。

注2 短期飼養ボランティア

主に、毎年5月から8月くらいまでの間、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリなど主に巣立ち前の野鳥のヒナ等のお世話やすぐに放鳥・放獣できない動物のリハビリ訓練などを行っていただいております。

注3 長期飼養ボランティア

翼が折れているなどの理由により野生に返せない鳥獣を、生涯にわたり飼養を行っていただいております。

参考（過去5年間のボランティア活動状況）

(1) ボランティア登録状況

(人)

年度別	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
ボランティア登録数	132	146	191	228	254

*ボランティア登録数は、各年度の3月31日現在

(2) 一般ボランティアの年度別活動状況

(延べ人数)

年度別	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
活動延べ人数	633	690	1,083	1,185	1,217

(3) ボランティアへの飼養依頼

(件)

年度別		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
鳥類	短期	1	0	1	1	0
	長期	0	3	1	3	5
哺乳類	短期	0	0	0	0	0
	長期	0	0	0	0	0
合計	短期	1	0	1	1	0
	長期	0	3	1	3	5
総計		1	3	2	4	5

*各年度新たに依頼した分のみ掲載